人権擁護委員の再任・選任と表彰

○遠藤哲也氏が人権擁護委員に再任

人権擁護委員に、遠藤哲也氏(奥池南町在住)が再任され、法務大臣から委嘱されました。任期は、平成30年９月30日までです。

遠藤哲也氏

○中村和子氏が人権擁護委員に選任

人権擁護委員に、中村和子氏(三条町在住)が選任され、法務大臣から委嘱されました。任期は、平成30年９月30日までです。

中村和子氏

宮井壽美子氏

○退任人権擁護委員の表彰

人権擁護委員として４期12年にわたり長年ご活躍いただきました宮井壽美子氏(業平町)に、退任にあたり、法務大臣から感謝状の贈呈がありました。

問い合わせ　人権推進課　☎38-2055

有害図書は白ポストへ

青少年愛護センターでは、子どもたちに見せたくない成人向け雑誌やＤＶＤなどを回収するため、市内６カ所にステンレス製の「白ポスト」を設置し、定期的に回収作業を行っています。

設置場所は、①市役所北敷地内②ＪＲ芦屋駅南・緑地内③ＪＲ芦屋駅北(２階)・ベデストリアンデッキ内④阪神打出駅北⑤グルメシティー芦屋浜店東側・バス停北側⑥阪急芦屋川駅北広場にあります。

有害図書や有害ＤＶＤなどは、白ポストへ投かんしてください。ご協力をお願いします。

問い合わせ　青少年愛護センター　☎31-8229

阪神地域都市計画区域マスタープラン等の変更に関する都市計画案の縦覧

都市計画区域の整備、開発および保全の方針(都市計画区域マスタープラン)、区域区分、都市再開発の方針、住宅市街地の開発整備の方針、防災街区整備方針の変更についての都市計画案を縦覧します。

■対象都市計画区域　尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町
■縦覧期間　12月８日～22日(土・日は除く)
■縦覧場所　市都市計画課および兵庫県都市計画課※県ホームページでも閲覧可能(http://web.pref.hyogo.lg.jp/town/cate3_201.html)
■意見書　縦覧期間中は、県に意見書を提出することができます。※期間内必着
■意見書提出　下記へ

問い合わせ　兵庫県都市計画課　☎078-362-3578
(〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1)

11(いい)月30(みらい)日は「年金の日」です!!

年金記録や将来の年金受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。「ねんきんネット」を利用いただくと、ご自身の年金記録の確認や将来の年金受給見込額などの試算をすることもできます。下記のホームページでご確認いただくか、西宮年金事務所にお問い合わせください。

■日本年金機構ホームページ　http://www.nenkin.go.jp/n/www/n_net/

問い合わせ　西宮年金事務所　☎0798-33-2944

個人市県民税(住民税)の税制改正について

問い合わせ　課税課市民税係　☎38-2016

【住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長】

消費税率10%への引き上げ時期が、平成29年４月へ延期されたことに伴い、住民税における住宅借入金等特別税額控除について、居住開始年月日の適用期限が次のとおり延長されます。

	居住開始年月日	控除限度額
改正前	平成26年４月１日から平成29年12月31日	所得税の課税総所得金額等の７%(限度額136,500円)※
改正後	平成26年４月１日から平成31年６月30日	

※平成26年４月１日から平成31年６月30日までに入居されたかたのうち、消費税率８%または10%で住宅の取得・改築等をされた場合に、上記のとおり控除限度額が所得税の課税総所得金額等の７%(限度額136,500円)となります。

【寄附金税額控除における特例控除額の拡大】

都道府県または市区町村へ寄附した場合(ふるさと納税)の寄附金税額控除における特例控除額の限度額が、住民税所得割の２割(現行１割)に引き上げられます。

住民税適用課税年度	特例控除額の上限額
平成21～27年度	所得割額の１割
平成28年度	所得割額の２割

【公的年金からの特別徴収制度の見直し】

平成28年10月以後の特別徴収分から以下の２点が変更となります。

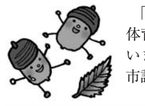
1. 特別徴収税額の平準化
年間の特別徴収税額の平準化を図るため、公的年金の受給の際に徴収される仮徴収税額(４月・６月・８月)が、前年度の公的年金等に対する住民税額の２分の１に相当する額となります。

2. 特別徴収の継続
現行制度では年度の途中で他市へ転出した場合や特別徴収税額に変更があった場合、公的年金からの特別徴収が停止となり、残りの税額を普通徴収で納めていただいていましたが、今回の改正の適用により、一定の要件の下、特別徴収を継続することとなります。

※詳しくは市ホームページをご覧いただくか、お電話・窓口でお問い合わせください。

一般競争入札の結果について

問い合わせ　契約検査課　☎38-2012



「芦屋市営陽光町住宅２号棟他外壁改修工事」および「芦屋市立体育館・青少年センター改修工事」の入札を平成27年８月10日に行いました。契約については、８月11日に仮契約を締結し、９月18日市議会の議決を得て本契約を締結しました。

件　名	契約業者名	契約金額(税込)
芦屋市営陽光町住宅２号棟他外壁改修工事	株式会社林建設	191,916,000円
芦屋市立体育館・青少年センター改修工事	中川企画建設株式会社	581,158,800円

※入札結果の詳細につきましては、ホームページ・行政情報コーナー等でご確認いただけます。

地球市民

海外派遣職員体験記 ～地方公務員海外派遣プログラムより～

総務省には、海外における研修・研究を通じて国際的な感覚と視野に富んだ職員を養成することを目的とした「地方公務員海外派遣プログラム」という研修制度があります。

今年度、そのプログラムに参加し、６月上旬～９月中旬までの約３カ月間、アメリカの研修を通じて異文化に触れ、ひと回り大きくなった市職員からのレポートです。

問い合わせ　広報国際交流課　☎38-2008

私が参加した研修は、研究テーマ・訪問先・宿泊先等すべてを自分で決め、進めていくという、ユニークなものでした。

日本での事前研修で他市からの参加者10人と情報や意見を交換しつつ、５人はイギリスへ、私を含む５人がアメリカへ向かいました。

到着後はそれぞれが個別行動で、私は(財)自治体国際化協会(ＣＬＡＩＲ)ニューヨーク事務所で、現在のアメリカの状況や暮らしを学び、その後の１カ月は語学研修のため、コロンビア大学で英語を学びました。

クレアニューヨーク事務所ビル

大学ではさまざまな国の学生が集まり、英語だけでなく、各国の文化や社会背景等についても理解することができました。

その後は、ワシントン周辺やフィラデルフィアでホームステイさせていただきながら、子育てに関するボランティア団体等の活動を見学しました。

大学での授業風景

いい子に育ってほしいと願う子どもに対する気持ちは共通ですが、塾やお稽古事には通わず、学校の授業後は友達や家族との時間を非常に大切にしているようでした。

また、ベビーシッティングが一般的で、近所の子どもを気軽に預かる家族同士のつながりが強いと感じました。

この研修では、日本とは大きく異なる文化や、さまざまな人にふれながら、すべての事柄を自分で進めていかなければならないという点から、自主性と行動力を身につけることができ、非常に有意義なものとなりました。

また、文化・言葉・人種が違う多種多様な人々の中で暮らすことで、自国の歴史や文化を知り、そして相手のことを積極的に知ろうとすることの大切さを学びました。

この経験を生かし、広い視野を持って物事を多角的に考えることのできる職員として、今後も成長していきたいと考えています。

子育て推進課　小川和真

ベビーシッティングの様子

イングリッシュ＆テニスくらぶ受講生募集

幼稚園年長から小学校６年生までの英語とテニス教室がセットになった欲張りなクラブです。無料体験レッスンもあります。(事前に予約が必要です)

■日時＆対象　火曜日・午後４時～５時50分(幼稚園年長～小学２年生)
午後５時～６時50分(小学３～６年生)
木曜日・午後４時45分～６時30分(小学３～６年生)
■会場　潮芦屋交流センター
■内容　テニス50分・英語50分
■費用　月謝制(2,750円×回数)別途英語教材費※ラケットは無料貸出しします。
■申し込み　下記へ

問い合わせ　潮芦屋交流センター　☎25-0511

美術博物館の催し

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432
✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-25)

展覧会「戦後のボーダレス―前衛陶芸の貌 Borderless Communication after 1945」

■会　期　11月28日～平成28年２月７日
■会　場　ホール・第１展示室・第２展示室
■内　容　戦後、「オブジェ陶」といわれるやきものが生まれました。1947年、京都で誕生した前衛陶芸家グループ「四耕会」をはじめ、翌年結成された「走泥社」など、彼らの発表した作品は、それまでやきものに対して使われることの多かった「用の美」という言葉から一線を画した、土という素材を使った新たな造形表現ということができるでしょう。本展は、陶芸界にとどまらない、絵画、彫刻、いけばな等、他ジャンルとの"ボーダレス"な交流に着目し、前衛陶芸の深化の過程に迫ります。

※11月28日(土)は無料で展覧会をご覧いただけます。

展覧会「戦後のボーダレス―前衛陶芸の貌 」展関連イベント

【講演会「四耕会誕生の頃から-70年の陶歴」】
■日時　12月６日(日)午後２時～
■会場　講義室
■講師　林康夫氏(陶芸家、元「四耕会」、「走泥社」会員、大阪芸術大学名誉教授、IAC国際陶芸アカデミー会員)
■参加費　要観覧料

【学芸員によるギャラリー・トーク】
■日時　12月12日(土)午後２時～
■会場　ホール・第１展示室・第２展示室
■参加費　要観覧料

美術博物館

《特別観覧料》一般800(640)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※(　)内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた１人は各当日料金の半額
《開館時間》午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)
《11月の休館日》16日～27日・30日(月)

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ　谷崎潤一郎記念館　☎23-5852/FAX38-3244
✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp(〒659-0052 伊勢町12-15)

【谷崎館講座】　筆で描くカリグラフィー
■日　　時　12月４日(毎月第１金曜日・１月は第４金曜日)午後２時～４時
■会　　場　講義室
■内　　容　筆ペンを使ってアルファベットを美しい装飾文字で描き出すのがカリグラフィーです。プレゼントに添えるカードなどをセンスよく作れます。

■定　　員　16人
■講　　師　林綾子氏(カリグラファーズ・ギルド会員)
■受 講 料　３カ月9,600円(別途要教材費)
■申し込み　上記へ

《観覧料》一般400(320)円・大高生300(240)円・中学生以下無料　※(　)内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかた１人は各当日料金の半額
《開館時間》午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)
《11月の休館日》16日(月)・24日(火)・30日(月)

公民館音楽会 マリンバとバイオリンによるクリスマス・コンサート

■日時　12月19日(土)午後１時30分～３時
■会場　市民センター音楽室　■曲目　クリスマスソング／美空ひばり名曲集／運動会メドレー／リベルタンゴ ほか　■出演　張 明珠(打楽器奏者)・辻村菜美(マリンバ&バイオリン)　■参加料　500円　■申し込み　音楽会名・住所・氏名・参加人数(１人または２人)・電話番号を記入し12月７日(月)までに、はがきかファクスで公民館へ

問い合わせ　公民館
☎35-0700/FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

平成27年度市民企画講座
木曜講座「絵本でつながる　こころとこころ」

■日時　12月３日(木)午前10時～11時30分　■会場　男女共同参画センター セミナー室　■内容　絵本が育む生きる力～絵本から児童書の世界へ～　■対象　16人(０歳～２歳児同伴・先着５組)　■一時保育　２歳以上就学前児・先着４人(１人300円) <要予約>

土曜イベント
「季節の絵本で遊んでみよう」

■日時　12月５日(土)午前10時～11時30分　■会場　男女共同参画センター セミナー室　■内容　冬の絵本　■対象　親子(０歳～就学前児と保護者)・先着10組、プレママ・プレパパ

■企画・運営　ＮＰＯ法人「絵本で子育て」センター 絵がお
■申し込み　11月16日(月)から、希望講座名・住所・氏名・電話(ファクス)番号をはがき・ファクス Ｅメール・電話または下記窓口へ。※定員になり次第、締め切ります。

問い合わせ　男女共同参画センター　☎38-2023/FAX38-2175
✉josei-ce@city.ashiya.lg.jp(〒659-0065 公光町5-8)

げんきい～っぱい！ みんなの幼稚園

～メンズデー(男性保護者参加型の参観日)～

幼稚園では、子どもたちの心がより豊かに育つようにと願い、未就園児・小中学生、保育所、地域のかたや保護者等、いろいろなかたがたと交流する機会を作っています。その中の一つとして、日頃子どもたちと触れ合う機会が少ないお父さんやおじいさん参加型の参観日「メンズデー」を行っています。

「芦屋川の園外保育」では、お父さんたちが、見事にカニを捕まえていく姿に「すごいなあ」と憧れの眼差しの子どもたち。その子どもたちの注目を集め、少々自慢気で嬉しそうなお父さんたち。また、「運動遊び」で、お父さん対子どもの綱引き大会をした時には「負けるものか」と互いに真剣です。「幼稚園の祭り」では相撲大会を開催し、正面から力いっぱいお父さんたちに向かっていく子どもたちの姿がたくさん見られました。負けても存分に相撲を楽しんだ満足感から子どもたちの表情はキラキラしています。幼稚園で育てたもち米を使った「もちつき」では「ぺったん、ぺったん」と威勢のよい音が響き、美味しいおもちが出来上がりました。どの活動もお父さんやおじいさんたちが子どもたちをあたたかく受け止めてくださり、子どもたちにとって、たくましく力強い存在となっています。

お父さんたちからは、「我が子だけではなく、いろいろな子どもたちと触れ合うことが楽しかったです。」「子どもの力の大きさに感動したり、逆にエネルギーをもらったりしました。」という感想をいただきました。

たくさんの人たちに見守られ、子どもたちは成長していきます。

問い合わせ　学校教育課　☎38-2087